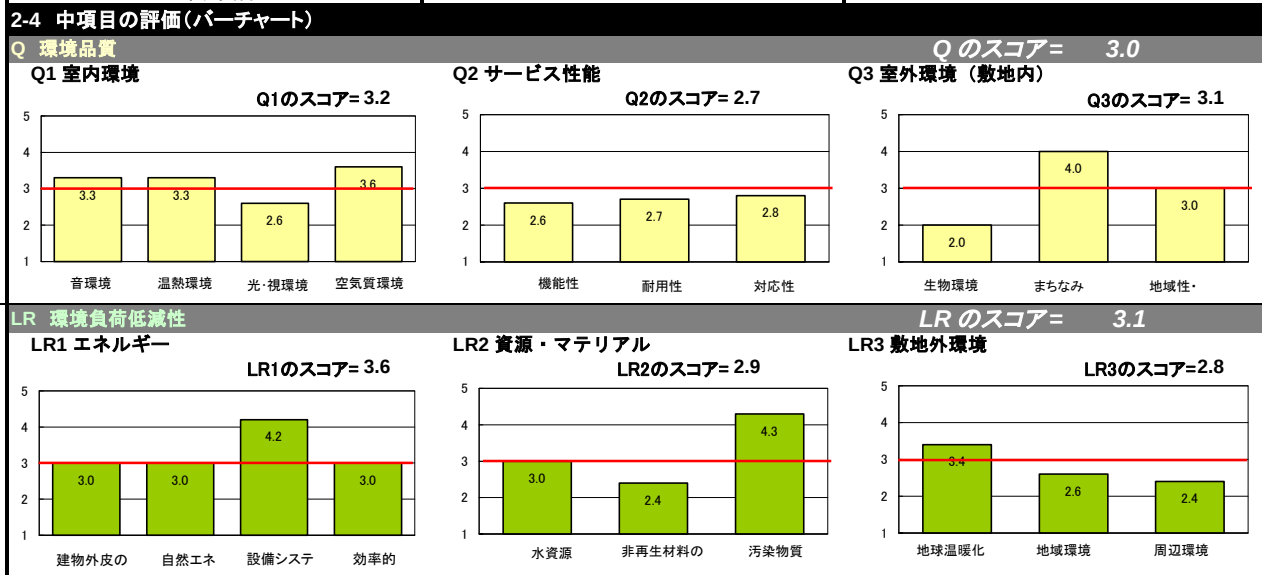
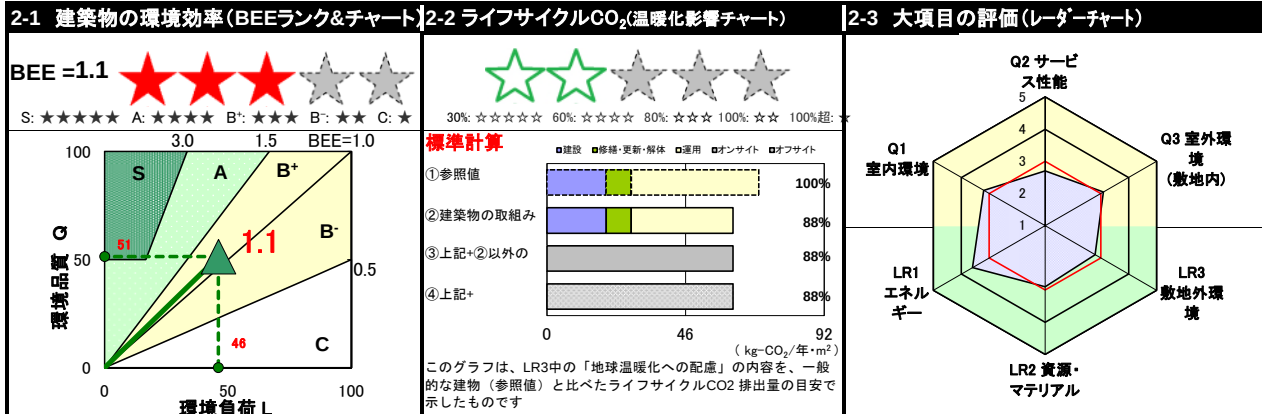


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_通称版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)尼崎市三反田町2丁目マンシ	階数		
建設地	兵庫県尼崎市三反田2丁目488番10	構造		
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日		
敷地面積	2,222 m ²	作成者		
建築面積	616 m ²	確認日		
延床面積	4,728 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 敷地周辺は戸建て住宅が立ち並ぶ為、建物立面の分節化を図る事で、まちへの圧迫感を抑えた。敷地には植栽を積極的に計画し、地域に潤いを持たせる。		その他 特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の内装建材を使用し、室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用して、更新必要間隔を長くするように努めた。	Q3 室外環境(敷地内) コンセプトをサンドバンクガーデンとし、三反田の砂州地形の歴史を表現しつつ、緑に包まれた落ち着いた安心の環境を創出した。また、敷地内に緑地を積極的に計画する事で、CO ₂ 排出量の低減や歩道空間の温度上昇抑制に配慮した。
LR1 エネルギー LED照明設備などの高効率設備、高性能断熱材を採用する事で省エネルギーに配慮した。	LR2 資源・マテリアル 木軸により躯体と仕上材が容易に分別できるなどの部材の再利用に配慮した。	LR3 敷地外環境 敷地周辺に緑地が少ないことから、敷地の道路に面する部分に植栽を積極的に計画する事で、まちのオアシスとなるような空間とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される